

技能者名簿

通番	氏名	生年月日	評価日	レベル 向上の有無	控除対象
1	奈良 三郎	S50.8.1			
2	犬田 悌順	S56.12.3	R2.2.3		○
3	兵庫 次郎	H2.3.3	H30.1.3	○	
合計	3 (人)			1 (人)	1 (人)

記載要領

- この表は、審査基準日における許可を受けた建設業に従事する職員のうち、審査基準日以前三年間に、建設工事の施工に従事した者であって、建設業法施行規則第十四条の二第二号チ又は同条第四号チに規定する建設工事に従事する者に該当する者（ただし、建設工事の施工の管理のみに従事した者は除く。）について作成すること。
- 「評価日」の欄には、技能者が審査基準日以前において認定能力評価基準により評価を受けている場合、その最も新しい評価を受けた日を記載すること。
- 「レベル向上の有無」の欄には、審査基準日以前三年間に、能力評価基準により受けた評価の区分が、審査基準日の三年前の日以前に受けた最新の評価の区分より1以上上位であった者に該当する場合に、○印を記載すること。
- 「控除対象」の欄には、審査基準日の3年前の日以前に能力評価基準により評価が最上位の区分に該当するとされた者の場合に、○印を記載すること。
- 本表の最後の行には、作成対象となる技能者、「レベル向上の有無」の欄に○印が記載された者、「控除対象」の欄に○印が記載された者、それぞれの合計人数を記載すること。

「技能者名簿」です。
 なお、「CPD取得数」又は「レベル向上者数」のいずれか一方でも加点の希望がある場合には、「技術者数」及び「技能者数」の両方を記入し「CPD単位を取得した技術者名簿」及び「技能者名簿」の両方を提出してください。
 ただし、記載対象者がいない場合には省略できます。

- **レベル向上の有無に関わりなく**、次のいずれにも該当する人を記載してください。
 - ① 常勤かつ審査基準日から遡って6か月超の期間雇用している。
 - ② 審査基準日から遡って3年以内に施行体制台帳又は再下請負通知書に添付する所謂「作業員名簿」の記載対象に該当した。
 - ③ 建設工事の施工の管理のみに従事する者でない。
- 記載されている人のうち、「レベルの向上の有無」又は「控除対象」に○がある人について、「技術者職員名簿」と同様に常勤及び6か月超の雇用を確認するための書類を提示してください。
- 記載されている人のうち、「レベルの向上の有無」又は「控除対象」に○がある人について、能力評価基準により受けた評価を証する書面の写しを提示してください。
- 審査基準日時点で稼働している工事について作成した「作業員名簿」を提示してください（該当がない場合には不要です）。
- 生年月日順（年長者→年少者）に記載してください。
- ※ 「技術職員名簿」又は「CPD単位を取得した技術者名簿」に記載した人と重複していても可。